

決済動向

— 平成8年3月 —

(平成8年5月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

3月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.1万件(前年比 Δ 3.1%)、金額ベースでは316.9兆円(同 Δ 8.2%)となった。金額の内訳をみると、当座預金振替等は293.1兆円(前年比 Δ 9.0%)、民間の集中決済制度に係る資金決済は15.9兆円(同+1.9%)となった。

3月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで4.9万件(前年比+13.0%)、金額ベースで120.7兆円(同 Δ 6.7%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.9万件(前年比 Δ 6.0%)、金額ベースで199.1兆円(同 Δ 8.0%)となった。

3月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで74.2万件(前年比+6.2%)、金額ベースで7.3兆円(同+26.1%)となった。

3月の日本銀行における銀行券受払高(月中合計)は受入高6.5兆円(前年比 Δ 9.7%)、支払高7.7兆円(同+1.6%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、3月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースで

は39.5万枚(前年比 Δ 10.2%)、金額ベースでは6.0兆円(同 Δ 1.5%)となった。

3月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは398.2万件(前年比+10.5%)、金額ベースでは9.9兆円(同+7.5%)となった。

3月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは3.7万件(前年比+2.8%)、金額ベースでは34.0兆円(同+9.1%)となった。

3. その他

3月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は11.2万契約(前年比 Δ 47.3%)、月末の建玉数量は104.9万契約(同 Δ 17.7%)となった。

(信用機構局)